

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 28 年 1 月 28 日 (2016.1.28)

【公開番号】特開 2015-117744 (P2015-117744A)  
 【公開日】平成 27 年 6 月 25 日 (2015.6.25)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-041  
 【出願番号】特願 2013-260648 (P2013-260648)  
 【国際特許分類】

**F 1 6 F 15/02 (2006.01)**

**E 0 4 B 1/98 (2006.01)**

【F I】

F 1 6 F 15/02 S

F 1 6 F 15/02 R

E 0 4 B 1/98 M

【手続補正書】  
 【提出日】平成 27 年 12 月 4 日 (2015.12.4)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

基材の凸曲状に形成された外面に取り付けられる制振材であって、  
 前記外面に接着される取付面に複数の切込が形成されて複数のブロックに分けられ、各  
 前記ブロックの前記取付面と相反する表面側が連結して形成された曲げ変形可能な制振部  
 材を有し、

前記制振部材は、前記切込により複数のブロックに分断され、各前記ブロックの前記取  
 付面に相反する表面側が、前記外面の凸曲形状に沿うように曲げ変形可能なシート部材を  
 介して連結して形成されていることを特徴とする制振材。

【請求項 2】

前記制振部材は、前記切込が前記取付面側に向かって漸次広がる V 溝状に形成されてい  
 ることを特徴とする請求項 1 に記載の制振材。

【請求項 3】

前記制振部材は、前記取付面が前記切込により多角形状のブロックに分けられているこ  
 とを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の制振材。

【請求項 4】

基材の凸曲状に形成された外面に制振材を取り付ける制振材取付方法であって、  
 前記基材の前記外面に接着される制振部材の取付面に切込を形成して複数のブロックに  
 分断し、かつ各前記ブロックの前記取付面と相反する表面側にシート部材を設けて各前記  
 ブロックを連結した制振材を形成し、前記制振部材の前記取付面を前記基材の前記外面に  
 接着することを特徴とする制振材取付方法。

【請求項 5】

前記制振部材における前記切込を前記取付面側に向かって漸次広がる V 溝状に形成する  
 ことを特徴とする請求項 4 に記載の制振材取付方法。